

来週の「売り物記事」はこれ



2019年12月6日号 毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

帰国事業60年後の新情報 北朝鮮に消えた画家を追う

夕刊特集ワイド 9日(月)

1959年12月14日、みぞれ降りしきる新潟港から北朝鮮へ初の帰国船が出航しました。25年におよぶ帰国事業で9万3000人余が「地上の楽園」と宣伝された祖国の土を踏みました。そのなかに「マンホール画家」と呼ばれ、2度も新人洋画家の登竜門とされる安井賞の候補になった奇才、チョ・ヤングユ氏もいましたが、しばらくして消息を絶ちました。前途洋々たる画家は、かの地でどう生きたのでしょうか？60年後の新情報を追います。



地球温暖化 日本への影響は？

くらしナビ面 11日(水)



地球温暖化で、日本では年平均気温が100年当たり1.21度上がり、世界平均(0.73度)よりも速いペースで気温上昇が進んでいます。台風19号のような気象災害の発生だけでなく、農業などさまざまな分野で影響が深刻化しつつある現状をわかりやすく解説します。

外国人看護師の「1期生」はいま

くらしナビ面 11日(水)

2008年、日本はインドネシアと経済連携協定(EPA)を結び、看護師の受け入れを始めました。EPAで東南アジア3カ国から来日した外国人看護師は昨年までに1300人に上りますが、多くは数年で帰国してしまいます。せっかく日本に来てくれた人材をなぜ生かせないのか。今も日本の病院で看護師として働く「1期生」に取材し、在留に必要な国家資格を取る難しさ、勉強や生活に対する公的支援の乏しさを考えました。



論点 相次ぐ「表現の不自由」

オピニオン面 11日(水)



表現や文化活動と、行政による助成のあり方が問われています。文化庁などは、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」、映画「宮本から君へ」に対し、補助金や助成金の不交付を決定しました。川崎市の「KAWASAKIしんゆり映画祭」では映画「主戦場」の上映が一時中止されました。映画を中心に、行政の芸術支援、文化助成の課題を識者3人に聞きました。

ネットの詐欺広告に注意

くらしナビ面 12日(木)

ネット配信される広告に関し、人間がアクセスしたように見せかけて広告を表示させ、広告費を詐取する「アドフラウド(広告詐欺)」という不正行為が広がっています。直接、被害を受けるのは広告費を出している広告主ですが、ネットでさまざまなコンテンツを閲覧しているユーザーが、知らず知らずのうちに広告詐欺に手を貸してしまうケースもあります。注意点をまとめます。



五輪セキュリティ企画

1面、3面など 12日(木)

「平和の祭典」と呼ばれる五輪ですが、過去には会期中や開幕前に大会の妨害などを狙ったテロ行為が繰り返されてきました。近年では、サイバー攻撃や警備の緩い会場周辺などを狙った攻撃など新たな脅威も出てきています。来年の東京五輪に向けた「Moment」の新シリーズでは、5回にわたってセキュリティ対策の取り組みに焦点を当て、課題を探ります。



英国総選挙結果

1面、3面、特集面など 14日(土)

欧州連合(EU)からの離脱を争点とする英下院の総選挙が12日、投開票されます。ジョンソン首相率いる保守党が過半数を握れば、離脱の動きが加速しますが、過半数に達する政党がない「ハングパーラメント(宙づり議会)」となり、不安定な状況が続く可能性もあります。14日の紙面では、選挙結果を分析すると共に、識者3人による座談会も掲載する予定です。

高齢の親が喜ぶ冷凍おかず

くらしナビ面 14日(土)

高齢化に伴い、一人暮らしのお年寄りが増えています。離れて暮らす親の元へ頻繁に通うのは難しいケースが多いですが、自宅で調理したおかずを冷凍して、宅配便で届ける方法があります。料理研究家の検見崎聡美さんに、シニア世代の食事に大切な栄養や味付け、食べやすさを重視した冷凍おかずのコツを教わります。



※ 都合によっては掲載日や内容を変更することがあります。